

連携機関のお知らせです

(株) オックスフォード・ナノポアテクノロジーズ / (株) ジーンベイ共催セミナー

ロングリードシーケンスの活用について

ナノポアの最新テクノロジーが実現する高精度なマルチオミクス解析

セミナー終了後に対面にて、研究での活用に関する相談も可能です。



有志の大学共同利用施設がゆるやかに連携して活動しています。学部・大学・機関の壁を越えてふってご参加ください。

日時： 2024年 11月 15日 (金) 16:00-17:30

場所： ハイブリッド Webセミナー (Zoom)

オンサイト会場 慶應義塾大学 信濃町キャンパス 総合医科学研究棟 4階会議室

演者： 鈴木 智 (株式会社オックスフォード・ナノポアテクノロジーズ / シニアフィールドアプリケーションサイエンティスト)

上村 泰央 (株式会社ジーンベイ / 代表取締役社長)



オックスフォード・ナノポアテクノロジーズ

ナノポアシーケンスは、短い断片(20bp)から超長鎖(最長4Mbp)のDNAやRNAの塩基配列を直接、リアルタイムで読み取ることができ、シーケンスと同時にメチル化情報を取得することができます。ナノポアのケミストリ、またベースコーラーの改良により、1リードあたりの精度が劇的に改善し、最新のDoradoベースコーラー(SUP mode)を用いることで、1リードあたりQ26≒99.75%を達成した高精度シーケンスが可能です。従来のシーケンシング技術では難しかった、構造変異や、タンDEMリピート、メチル化などの情報を含む包括的なゲノム情報を提供できる技術をご紹介します。

アプリケーション事例

シングルセル解析：10X Genomicsを用いた全長のシングルトランスクリプトーム解析

ダイレクトRNAシーケンス：アイソフォームの解析、RNA修飾情報解析 (m5C, m6A, pseU, inosine) Native RNA解析

ターゲットシーケンス：キャプチャー、PCRなしでターゲットシーケンスを可能にするアダプティブサンプリング

注：過去クオリティ：Q8～Q16 (85%～97.5%)



株式会社 ジーンベイ

ナノポアシーケンス受託サービスとデータ解析システムのご紹介

株式会社ジーンベイは2018年にOxford Nanopore Technologies社のサービスプロバイダー認証を取得し、ナノポアシーケンスの受託サービスを提供しています。本セミナーでは、受託解析の最新情報として5000以上の疾患関連遺伝子をカバーしたロングリードターゲットシーケンスサービスやトランスクリプトームシーケンスサービスについて、自社で取得した解析データを用いてご紹介していただきます。また、ユーザー自身でナノポアシーケンスデータの解析を行うためのGPU搭載ナノポアデータ解析システムについてもご紹介していただきます。

申込フォーム

<https://forms.gle/34RTR8mSYCMBPGF7A>

上記のURLもしくはQRコードから申し込みフォームにアクセスしてください。
フォームで申し込みの方にセミナーIDをお知らせします。

申込締切：2024年11月14日 (木) 17:00

電話での受け付けはしていません。協力企業からの連絡のみを希望される場合もフォームからご連絡ください。記入内容は協力企業と情報共有させていただきます。

後日オンデマンド配信をご希望の方もフォームでお申込みください。

メーカー連絡先

本セミナーに関するお問い合わせ

(株) オックスフォード・ナノポアテクノロジーズ

営業担当：荒井 Mami.arai@nanoporetech.com

学内連絡先 慶應義塾大学 医学部 共同利用研究室

中央機器管理部門 担当：藤原

E-mail：chuokiki-office-group@keio.jp

<https://sites.google.com/keio.jp/corr-cf/home>

<https://forms.gle/34RTR8mSYCMBPGF7A>



4RTR8mSYCMBPGF7A